

とまこちゃん通信 VOL.5

2016年8月・9月

8月・9月
合併特大号



とまと歯科クリニック

☆今回のテーマ☆ 「当院の理念について」

「地域の皆様のお口の健康を守り育てることに全力を尽くし、より快適で幸せな人生のお手伝いをします。」
とまと歯科クリニックは平成18年の2月8日に「町で一番やさしい歯医者」をキャッチフレーズに開業し、よその病院にはない明るい雰囲気の中でどなたでも安心して治療をうけてもらえることを目標にしてきました。しかし10年たち、私たちのやっている治療は本当に皆さんの望まれているものなのだろうか？皆さんの幸せに貢献できているのだろうか？と疑問を感じるようになりました。

それは、「歯を削って詰める」という当たり前のような治療が、病気を治すこと、お口の健康を維持・増進することにどれだけ役立っているのだろうか？という疑問です。

小さなむし歯であっても、それを削って人工物で修復したとき、実は必ず何年か後には再治療が必要となるのです。全国的な平均で5~6年後ごとに再治療が必要といわれており、なおかつこれが7~8回繰り返されたとき、その歯はすでに抜歯せざるを得ない状態になっています。つまり歯の寿命は一度削り始めてから40~50年なのです。

そこで歯を長持ちさせるにはメンテナンスを欠かさず行いできるだけ虫歯の再発を防ぎ再治療の間隔を延ばすことが重要といえます。しかしそもそも虫歯を作らなければ治療の必要はないので、虫歯という病気にかからないようにする「予防」の考え方、正しい方法を実践できればもっとよいのです。そのためには、虫歯のない人たち（=今は主に小さな子どもたちです。）のお口の健康をいかにして守るかということに着目し、子どもの健やかな成長のための正しい知識を保護者の方々にお伝えし、共に支えるサポーターになることが私たちの使命と感じています。

健康はあたりまえでなくまた憧れでもなく、自分で作り作っていくものと考えていただき、攻めの姿勢でお口の病気と闘っていくのです。とまと歯科クリニックは皆様の健康寿命を延ばすパートナーでありたいと思っています。

院長 廣瀬 佐都子



★おしえて!とまこちゃん★

質問その1:「親知らずは抜いたほうが良いですか?」

答え:親知らずは必ずしも抜く必要はありません。上下の親知らずがまっすぐ生えていて、噛み合っていれば抜く必要はありませんが、斜めに生えている場合や、噛み合わせに悪影響を与えている場合は抜いたほうが良いでしょう。

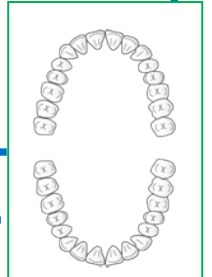
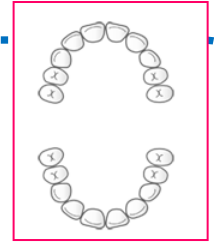
また、親知らずは一番奥にあり、歯ブラシが届きにくいため、磨き残しに注意する必要があります。汚れ(歯垢)がたまると、親知らずやその手前の歯がむし歯になったり、親知らずの周囲の歯ぐきが腫れて痛くなったりするため、上手に磨けない時は抜くことも考えた方が良いでしょう。



★おしえて!とまこちゃん★

質問その2:「子どもの歯から大人の歯になるまでには何本ふえるの??」

答え:子どもの歯(乳歯)の数は上下合わせて20本、大人の歯(永久歯)の数は上下合わせて28本、親知らずを含めると32本生えます。
(ちなみに、親知らずは生えない人もいます。)という事で、子どもの歯から大人の歯に生え変わった時には8本増える、という事になります。



質問その3:「銀歯はいつ取れるの??」

答え:銀歯を詰めてから取れるまでの寿命は長くて5年~10年未満と言われて
いますが、銀歯をつけている歯がまたむし歯になった時に取れる事が多いです。
お口の中をきれいにしていなかったり、いつもキャラメルや
ハイチュウを食べていると、すぐ取れてしまう事もあります。まずは
銀歯を詰める事にならないように、しっかりと歯みがきをしましょうね!



※たくさんの質問、ありがとうございます♪ 「おしえて!とまこちゃん」コーナーでは、
歯やお口の中に関する質問を募集中です☆待合室にある質問BOXに入れてね!!

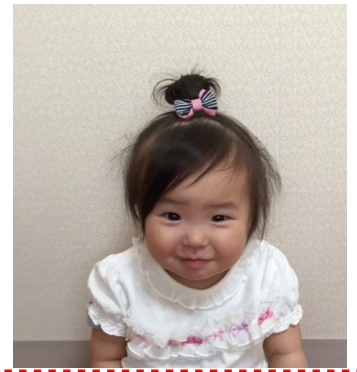
今月の ぷちとまと 

9月8日で
1歳になります!



しゅんや かつな
惇也さんと葉奈ちゃん、
とっても仲良しです♡♡

8月4日で
1歳になりました!



とまと歯科クリニックの理念: 地域の皆様のお口の健康を守り育てることに
全力をつくし、より快適で幸せな人生のお手伝いをします。